



「ハイブリッド・エコ・ハートQ住宅の科学」④ エネルギー自活住宅の考え方

25・26pの紹介

九州住環境研究会では、左写真の「ハイブリッド・エコ・ハートQ」④エネルギー自活住宅の考え方の他、住宅に関連する環境について、4分冊の小冊子を発行しております。住宅建築は、単に住宅を建てればよいというわけではなく、断熱性能などさまざまな数値によって性能管理が行われています。住宅の性能には、明確な基準があり、素材の採用や施工方法にも明確な根拠があります。それを項目毎にまとめたのが上記の小冊子です。これから順次、抜粋してご紹介致しますが、本冊子に興味のある方は、電話・インターネット等でお申し込み頂ければ差し上げます。



その契約ちょっとお待ちなせ～え！

◎現在の太陽光発電装置の相場。

最新相場は1kWあたり20万後半で、一般的な(30～40坪)の標準家庭用と言われる3kWを想定した場合、設置費用込みで約90万円くらいが相場ですが、設置量が多いほど安くなります。

(2018年6月現在)

例：3kWの太陽光発電システム機器代金
3kW×30万=90万(1kW30万の場合)

※発電パネルの効率で価格は異なります。(概算平均値として)

◎政府が示している目標価格！

●政府発表の設置費用の目標価格 表・19

目標価格(1kW)	10kW未満	10kW以上～
平成29年度	33.6万円	24.4万円
平成30年度	32.2万円	—
平成31年度	30.8万円	—

●5.0kW設置費用相場(2018年)

設置容量	設置費用	kW単価
5kW	161.0万円	32.2万円

経済産業省：調達価格等算定委員会(資料)

◎現在計画進行中の方、大丈夫ですか？

上表・19は、経済産業省が把握している我が国、全体の平均相場です。太陽光発電は、オーダーメイド商品ですから、設置場所や屋根形状、大きさ、太陽光発電の出力、メーカーなどで価格が変わります。絶対ではありませんが、おおよその参考にはなると思います。メーカー名を示して解説してきましたから、価格的に納得出来ないなら、施工店に詳しく説明を受けて進行させて下さい。



これなら間違いなし！
1kW=35万円とすれば
4.2kW×35万=147万円
消費税をプラスすれば、
多少、安くつく。
わたしの見立て通り！

表・20

●実際の4.2kWの見積もり例

項目	数量	単価	金額
太陽光発電モジュール	20	40,000	800,000
パワーコンディショナー	1	120,000	120,000
ケーブル 一式	1		3,100
架台 一式	1		8,500
システム工事費用	1		175,000
電気配線工事費用	1		100,000
申請手続き費用	1		15,000
モニター	1		62,000
自然災害補償(15年)	1		21,000
小計			1,304,600
消費税			104,368
(調整値引き)			968
支払金額合計			1,408,000

※hp上で公開されていた実際の見積もり。



政府にだって目標があるから
価格帯を誘導しているんだね。
グリッドバリエイも実現しているから
絶対にこれからは
太陽光発電が
必要ですよ！



こんないい加減な見積もり許せね～え！

下の見積もりをご覧になって何が値引きされているのか、理解できますか？

それも 400 万円以上の見積もりが、250 万円弱も値引かれるなんて、尋常な見積もりとは言えません。中にはカタログ価格を提示して、値引きを提案する業者もいるかも知れませんが、型番が古い製品もあります。見積もりは多社から取り寄せ、信頼出来る業者を選択して下さい。



◎納得出来ない「見積書」の例！

●見積金額「5kW 太陽光発電の設置費用 (188.32 万円)」の例。

表・21

商品名	数量	単価	金額
太陽電池モジュール	20	166,000 円	3,320,000 円
パワーコンディショナー	1	285,000 円	285,000 円
接続箱	1	35,000 円	35,000 円
ケーブル	3	9,000 円	27,000 円
発電量モニター	1	90,000 円	90,000 円
工事費(設置工事・電気工事等)	1 式	260,000 円	260,000 円
諸経費(系統連系立会等)	1 式	23,000 円	23,000 円
小計			4,040,000 円
消費税(8%)			323,200 円
合計(消費税込み)			4,363,200 円
値引き額			-2,480,000 円
総金額(消費税込み)			1,883,200 円